

施設カルテ

施設番号 1013 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/15

施設基本情報

施設名	熊谷尻 市営住宅			
所在地(住所)	北区御津矢原1175-000-00			
所管局区室課	都市整備局住宅課			
FM大分類	市営住宅	FM中分類	市営住宅	
財産中分類	公共用財産	地区	御津	
財産小分類	住宅	財産細分類	市営住宅	
中学校区	御津中学校	小学校区	五城小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし	
管理運営	指定管理	延床面積	155.50 m ²	
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	561.20 m ²	

施設概要 市営住宅:住宅

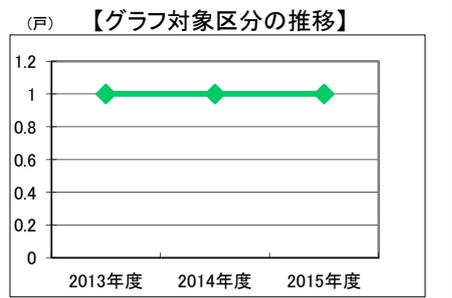
設置目的 健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

設置根拠 公営住宅法、岡山市営住宅条例

用途地域	—		法定容積率	0 %	法定建蔽率	0 %			
用途地域以外の指定地域	—		全棟数	1 棟	駐車台数	0 台			
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×	洪水時の浸水深	指定なし		
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	×		階段	—	地震・危険度	—		
	通信設備	×		昇降機	—	地震・揺れやすさ	震度5強の地域		
	調理設備	×		便所	×	地震・液状化危険度	極めて低い		
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし	土砂災害計画区域等	土砂災害危険箇所		
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無	開設年月日	1965/04/01	供用廃止日	—
	—	—		—	—	—	—	—	

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸	4	4	4	
入居戸数	戸	1	1	1	★
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					



凡例 ◆ 入居戸数(戸)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 1013 施設名 熊谷市 市営住宅

財務情報

●歳出

区分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		0	0	48	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	-	
	光熱水費	電気	0	0	-
		ガス	0	0	-
	水道	0	0	-	
修繕費	0	-	-		
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	48	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	0.19	0.19	0.19
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

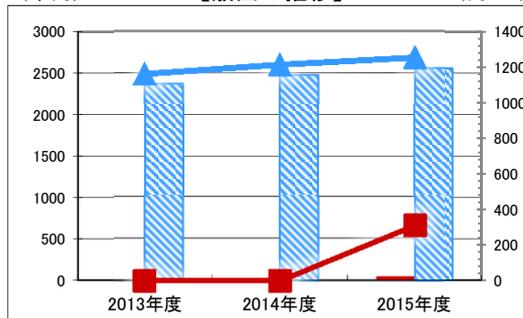
●歳入

区分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		71	54	41
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	71	54	41
	その他	-	-	-
	直営	-	-	-
外	使用料及び手数料	-	-	-
外	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

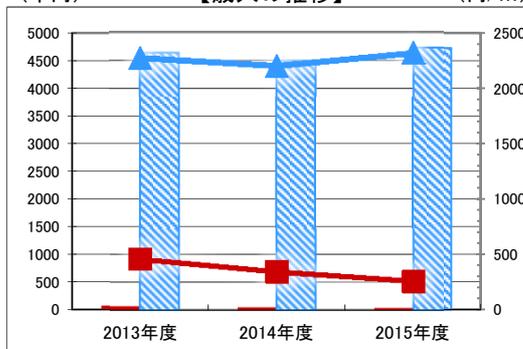
施設分類	市営住宅	総施設数	150
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	0	0	-
2014年度	0	0	-
2015年度	48	307	第97位

【歳出の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

【歳入の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

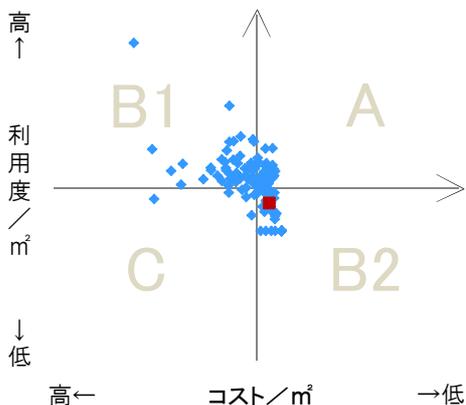
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 1014 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/15

施設基本情報

施設名	丹後 市営住宅		
所在地(住所)	北区御津伊田0180-001-00		
所管局区室課	都市整備局住宅課		
FM大分類	市営住宅	FM中分類	市営住宅
財産中分類	公共用財産	地区	御津
財産小分類	住宅	財産細分類	市営住宅
中学校区	御津中学校	小学校区	五城小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし
管理運営	指定管理	延床面積	1,560.29 m ²
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	5,240.40 m ²



施設概要
市営住宅:住宅

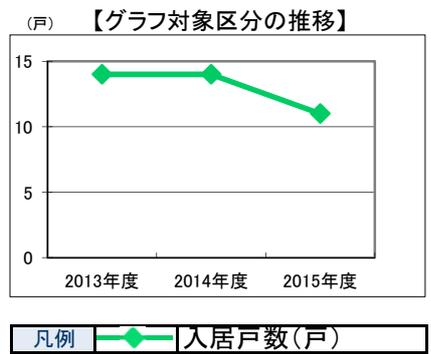
設置目的
健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

設置根拠
公営住宅法、岡山市営住宅条例

用途地域	—	法定容積率	— %	法定建蔽率	— %		
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	7棟	駐車台数	0台		
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×	洪水時の浸水深	指定なし
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×		階段	—	地震・危険度	—
	通信設備	×		昇降機	—	地震・揺れやすさ	震度5強の地域
	調理設備	×		便所	×	地震・液状化危険度	低い
	入浴設備	×		駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		開設年月日	1967/04/01	供用廃止日	—
				アスベストの使用	無		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸	22	22	22	
入居戸数	戸	14	14	11	★
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 1014 施設名 丹後 市営住宅

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		34	18	608	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	0	0	0
		ガス	0	0	0
		水道	9	9	9
	修繕費	25	10	336	
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	263	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	0.19	0.19	0.19
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		858	790	782
内 指定管理	利用料金(使用料)	858	790	782
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	直営	-	-	-
外	使用料及び手数料	-	-	-
外	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

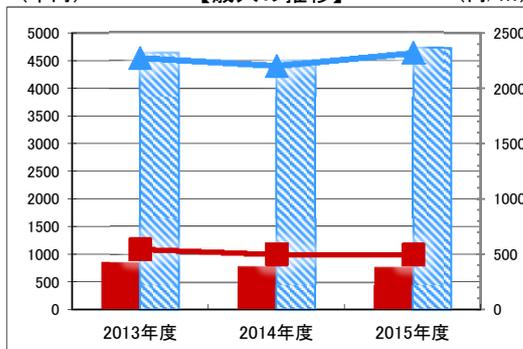
施設分類	市営住宅	総施設数	150
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	34 第101位	22 第129位	
2014年度	18 第115位	12 第124位	
2015年度	608 第53位	390 第86位	

【歳出の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

【歳入の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

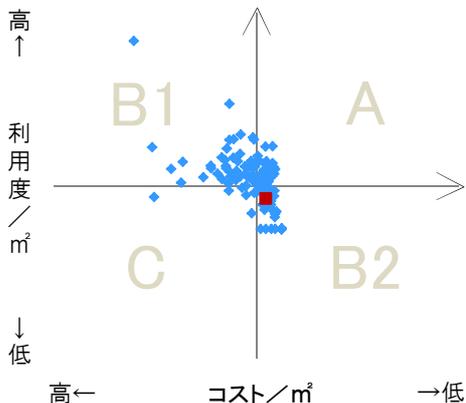
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 1015 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/15

施設基本情報

施設名	中須賀 市営住宅			
所在地(住所)	北区御津矢原0384-002-00			
所管局区室課	都市整備局住宅課			
FM大分類	市営住宅	FM中分類	市営住宅	
財産中分類	公共用財産	地区	御津	
財産小分類	住宅	財産細分類	市営住宅	
中学校区	御津中学校	小学校区	御津小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし	
管理運営	指定管理	延床面積	518.50 m ²	
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	2,005.60 m ²	

施設概要 市営住宅:住宅

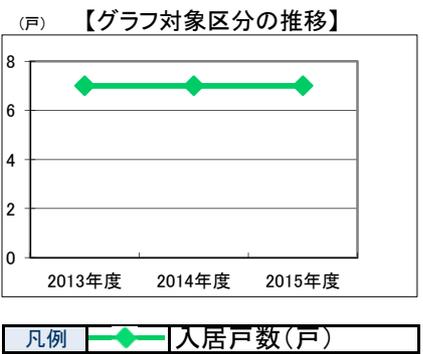
設置目的 健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

設置根拠 公営住宅法、岡山市営住宅条例

用途地域	—		法定容積率	— %	法定建蔽率	— %		
用途地域以外の指定地域	—		全棟数	2棟	駐車台数	0台		
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×	ハザードマップ指定	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×		設備(電気)	×	ハザードマップ指定	地震・危険度	—
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×	ハザードマップ指定	地震・揺れやすさ	震度5強の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×	ハザードマップ指定	地震・液状化危険度	低い
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし	ハザードマップ指定	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無	ハザードマップ指定	開設年月日	1964/04/01
						ハザードマップ指定	供用廃止日	—
				ハザードマップ指定				

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸	15	15	15	
入居戸数	戸	7	7	7	★
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 1015 施設名 中須賀 市営住宅

財務情報

●歳出

(千円)

区分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		130	78	580	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	-	
	光熱水費	電気	0	0	-
		ガス	0	0	-
	水道	0	0	-	
修繕費	130	78	401		
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	179	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	0.19	0.19	0.19
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

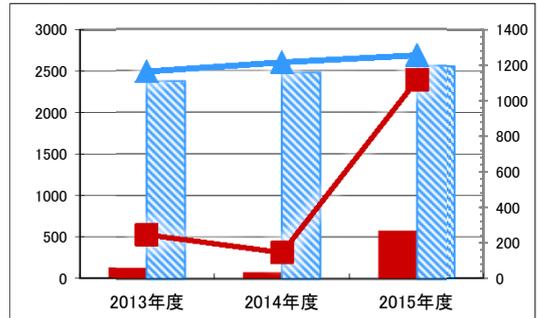
(千円)

区分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		258	238	234
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	合計	258	238	234
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

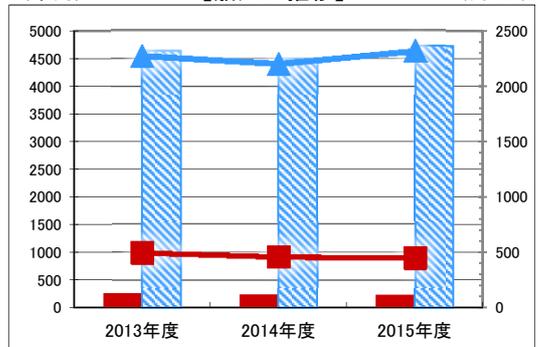
施設分類	市営住宅	総施設数	150
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	130 第84位	251 第100位	
2014年度	78 第92位	150 第106位	
2015年度	580 第54位	1,119 第26位	

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

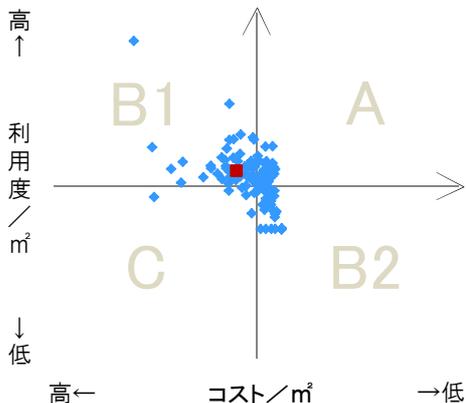
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



- ・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
- ・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	1016	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/15
------	------	-----	------------	-----	------------

施設基本情報

施設名	虫名 市営住宅			
所在地(住所)	北区御津野々口0074-000-00			
所管局区室課	都市整備局住宅課			
FM大分類	市営住宅	FM中分類	市営住宅	
財産中分類	公共用財産	地区	御津	
財産小分類	住宅	財産細分類	市営住宅	
中学校区	御津中学校	小学校区	御津南小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし	
管理運営	指定管理	延床面積	363.00 m ²	
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	1,230.80 m ²	

施設概要	市営住宅:住宅
------	---------

設置目的	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
------	--

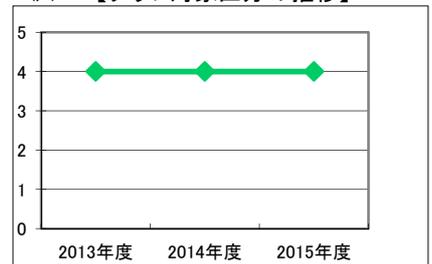
設置根拠	公営住宅法、岡山市営住宅条例
------	----------------

用途地域	—	法定容積率	— %	法定建蔽率	— %		
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	1 棟	駐車台数	0 台		
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	ハザードマップ指定	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×	設備(電気)	×	ハザードマップ指定	地震・危険度	—
	通信設備	×	設備(雨水・中水)	×	ハザードマップ指定	地震・揺れやすさ	震度5強の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	ハザードマップ指定	地震・液状化危険度	低い
	入浴設備	×	分煙対策	指定なし	ハザードマップ指定	土砂災害計画区域等	警戒区域(土石流)
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	ハザードマップ指定	開設年月日	1965/04/01
					ハザードマップ指定	供用廃止日	—
					ハザードマップ指定		
					ハザードマップ指定		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸	4	4	4	
入居戸数	戸	4	4	4	★
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(戸) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 入居戸数(戸)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 1016 施設名 虫名 市営住宅

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		16	354	229	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	-	
	光熱水費	電気	0	0	-
		ガス	0	0	-
		水道	0	0	-
	修繕費	16	354	181	
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	48	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	0.19	0.19	0.19
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

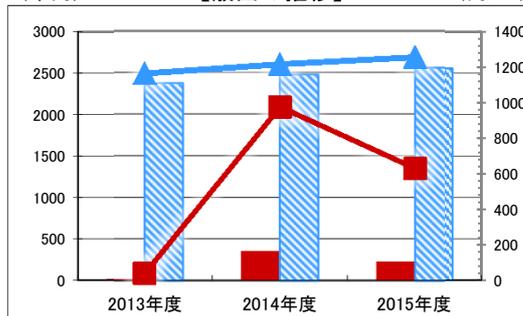
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		228	241	212
内 指定管理	利用料金 (使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	直営	228	241	212
外 訳	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

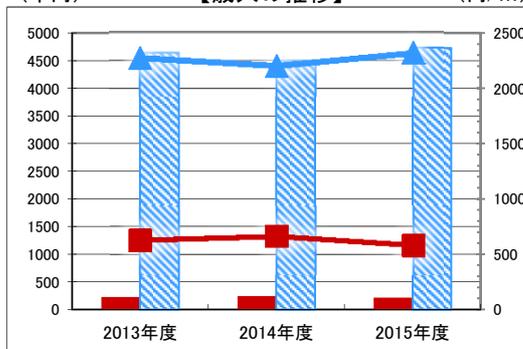
施設分類	市営住宅	総施設数	150
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	16 第118位	43	第123位
2014年度	354 第64位	976	第30位
2015年度	229 第84位	632	第58位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

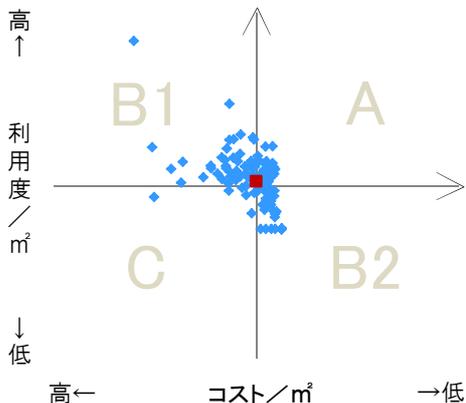
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 988 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/15

施設基本情報

施設名	十日市 改良住宅			
所在地(住所)	北区十日市西町0000-000-00			
所管局区室課	都市整備局住宅課			
FM大分類	市営住宅	FM中分類	市営住宅	
財産中分類	公共用財産	地区	北区本庁管轄区域	
財産小分類	住宅	財産細分類	市営住宅	
中学校区	岡輝中学校	小学校区	岡南小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし	
管理運営	指定管理	延床面積	1,849.74 m ²	
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	2,564.70 m ²	

施設概要
改良住宅: 住宅、物置、機械室

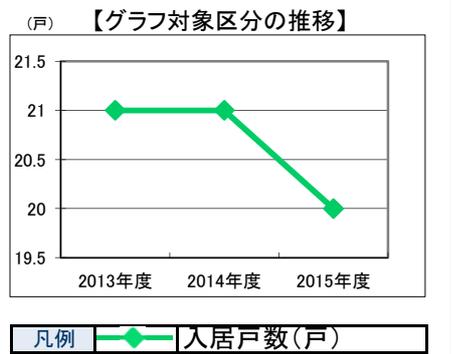
設置目的
不良住宅が密集する地区の改良事業に関し、当該地区の環境の整備改善を図り、健康で文化的な生活を営むに足る住宅の集団的建設を促進し、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。

設置根拠
住宅地区改良法、岡山市営改良住宅条例

用途地域	近隣商業地域	法定容積率	200 %	法定建蔽率	80 %
用途地域以外の指定地域	準防火地域	全棟数	7棟	駐車台数	0台
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×
	冷暖房設備	×		階段	×
	通信設備	×		昇降機	×
	調理設備	×		便所	×
	入浴設備	×		駐車場	×
	代替電源設備	×		開設年月日	1975/04/01
				供用廃止日	—
				洪水時の浸水深	指定なし
				津波時の浸水深	指定なし
		地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域		
		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域		
		地震・液状化危険度	きわめて高い		
		土砂災害計画区域等	指定なし		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸	34	34	34	
入居戸数	戸	21	21	20	★
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号	988	施設名	十日市 改良住宅
------	-----	-----	----------

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		645	3,510	953	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	電気	光熱水費	119	86	82
		水道	0	2,908	0
	修繕費	526	516	465	
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	406	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	0.19	0.19	0.19
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

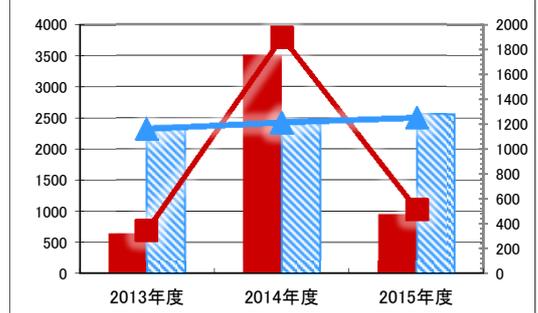
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		2,780	2,725	2,783
内 指定管理	利用料金 (使用料)	-	-	-
	目的外使用料	2,780	2,725	2,783
	その他	-	-	-
外 訳	直営 使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

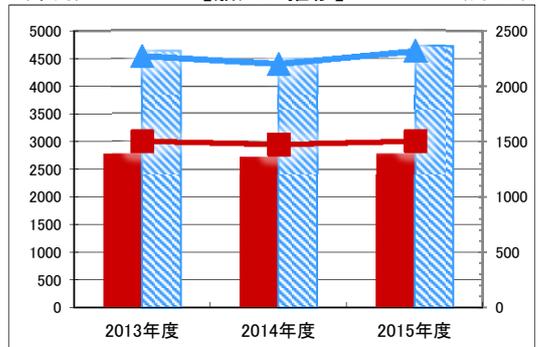
施設分類	市営住宅	総施設数	150
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	645 第52位	349	第88位
2014年度	3,510 第18位	1,897	第15位
2015年度	953 第41位	515	第68位

【歳出の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

【歳入の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

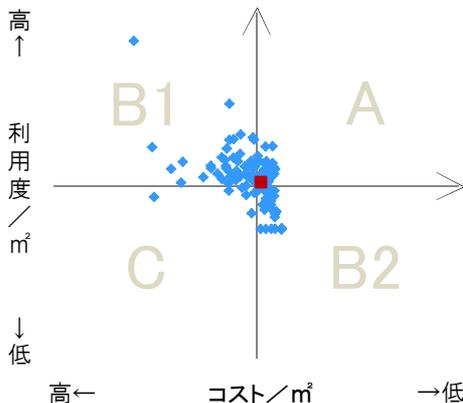
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

